

【助成事業】

「子どもゆめ基金助成活動」

キッズ・アート・アカデミー～こどもアート大作戦～「みて！みて！ぼくらのミュージアム」

【事業目的/内容】

2020年に宮崎県で国民文化祭が開催されるにあたり、県内で各種の文化活動が計画されており、県民の芸術に対する関心が高まると思われる。この機運を絶好のチャンスと捉え、きよたけ児童文化センターも子どもたちを中心とした様々な芸術活動を展開し、2020年の「アートフェスタ」にて、子どもたちの多くの作品を広く展示し、たくさんの方々に見に来ていただくことで、子どもたちが同じ目標に向かって作品を作りあげる事の達成感や喜びを感じ、さらに創作意欲への向上へと繋げていくことを目的とする。

【実施場所】 宮崎市きよたけ児童文化センター

【講座名】 この木にとまれ！バードピア

【実施日】 令和元年6月2日（日）

【講師】 守川美輪（宮崎国際大学 准教授）

【参加者数】 44名



【講座名】 みんなの干支でお面を作っちゃおう！①②

【実施日】 令和元年7月27日（土）・28日（日）

【講師】 松下太紀（立体造形アーティスト）

【参加者数】 36名



【講座名】 みんなで作ろう「月と太陽」

【実施日】 令和元年10月13日（日）

【講師】 ザ・キャビンカンパニー（絵本作家）

【参加者数】 113名



【講座名】 楽しいクリスマスタペストリー教室①②

【実施日】 令和元11月9日（土）・10日（日）

【講師】 守川美輪（宮崎国際大学 准教授）

【参加者数】 42名



【講座名】 とびだせ動物たち①②

【実施日】 令和元12月7日（土）・14日（土）

【講師】 上原英人（中学校教諭）

【参加者数】 41名



【所感】

今年、来年度開催される国民文化祭を意識した作品作りに取り組んできた。巨大版画やオブジェ作りでは、一つの大作にみんなの想像力を結集させ、干支のお面作りやとびだせ動物たちでは、日頃体験できないような技法を使いユニークで迫力のある作品、またクリスマスタペストリー教室では、ろうけつ染めという昔からの技法を現代風にアレンジした作品を作りあげた。中には大人を驚かせるほどの素晴らしい作品もあり、子どもたちの独創性や想像力の豊かさに感銘を受けた。来年度も引き続き国民文化祭に向けてさらなる作品作りに取り組み、二年間の集大成として「アートフェスタ」を開催し、多くの人に子どもたちの作品を見ていただきたいと思っている。

キッズ・アート・アカデミー 「演じる」～子ども劇団空風スマイルシアター～

[事業目的/内容]

演劇はメンバー全員が協力することでできあがっていくものであり、協力していくためには自分の思いや気持ちを言葉にして他者に伝えるコミュニケーション力が必要となる。また、毎回行っている脚本作りでは想像力や豊かな発想を培う時間を過ごすことになる。一人ひとりが自分の役割をしっかりと受け止め責任を持って果たしていく。「演じる」という活動の中にきらめいているこれら多くのものに子どもたちが気づき、一歩、素敵に成長してくれることを狙いとする。

[実施日] 令和元年6月8日(土)～令和2年2月16日(日)

[実施回数] 27回

[場 所] 宮崎県立芸術劇場練習室、宮崎駅前自治公民館、宮崎県企業局県電ホール、みやざき子ども文化センター コペルキッズ

[講 師] 永山智行、かみもと千春、伊藤海、濱砂崇浩、原口奈々、桂歌春、山下守之、飯干淳志

[参加者数] 15名 延べ308名

[合 宿] 令和元年12月21日(土)～22日(日) [場 所] 綾ふれあい合宿センター

[発表公演] 「神鳴三兄弟」 作：原口奈々 演出：永山智行

[劇 団 名] 子ども劇団空風スマイルシアター

[公 演 日] 令和2年2月16日(日) 2回公演 [場 所] 宮崎県企業局県電ホール

[来場者数] 延べ240名



日本の伝統文化「狂言」「落語」「神楽」それぞれの講師を迎えて体験講座を実施



[所 感]

来年宮崎で国民文化祭が開催されることもあり、日本の伝統文化である「狂言」「落語」「神楽」を東京や京都、高千穂から講師を招き、お話を聞き体験をする時間を持つことができた。狂言の演目「神鳴」をベースに、子どもたちがショートストーリーで作った雷さんのお話を盛り込み、「落語」の「初天神」を劇中に入れ、「神楽」と「狂言」のすり足も取り入れ、「神楽」の神々を劇中にお招きしての「神鳴三兄弟」が完成した。喧嘩ばかりしている雷の神さま、神鳴三兄弟が雲の割れ目から地上に落ちて、多くの人間や生き物に出会うことでいろいろなことを考えるという物語となった。公演のチラシやチケットも手作りし、多くの場所に配布した。

今年は日本の伝統文化を3つも体験し、それを劇に取り入れるという今までにないことに挑戦でき、今までで一番良かったという綾での合宿もあり、本当にいい時間をたくさん持つことができた。講師の永山さんは公演の時、「一人ひとりが自分の仕事をしよう！そしてこのメンバーで楽しもう！」と子どもたちに伝えた。公演には受験でメンバーを外れている子どもたち、進学ですでに辞めた子どもたちも来てくれた。「おかえり」と声をかける永山さん。いつでも家に帰るように、ここ(スマイルシアター)へ帰ってきてほしい、そんな存在でありたいと思う。

キッズ・アート・アカデミー 親子DEワークショップ

【事業目的】

子どもも大人も他者との関係が希薄と言われる中、多くの親子と空間・時間の共有を行うことを通しコミュニケーションや関わることの大切さを感じ取り、芸術が持つ子どもの成長への役割を感じ取ることができる。さらに、体験活動を親子で行うことで、親子の触れ合いの大切さや同じ空間・時間を共有する中で生まれる会話や制作過程のお互いの笑顔、優しさから子どもたちの豊かな心を育てまた親も新しい発見がある。このことが子どもたちが芸術に関わる時間の確保につながる。

【講座名】MUSIC DAY

「乳幼児からのコンサート及び楽器体験ワークショップ」①

～みんなでカップス♪～

【実施日】令和元年7月28日（日）

【場所】みやざき子ども文化センター コペルキッズ

【講師】エトヤンヤンヤン（パーカッショントリオ）

【参加者数】18名



【講座名】ART DAY

「親子でキャンバスを使ってアート体験」

【実施日】令和元年9月29日（日）

【場所】みやざき子ども文化センター コペルキッズ

【講師】松下太紀（造形作家）

【参加者数】28名



【講座名】CREATE DAY

「ダンボールハウスをつくろう」

【実施日】令和元年10月6日（日）

【場所】宮崎市生目の杜遊古館

【講師】松竹昭彦（建築家）、上口将生（造形作家）

【参加者数】96名



【講座名】MUSIC DAY

「乳幼児からのコンサート及び楽器体験ワークショップ」②

～五感で遊ぶ親子のためのワークショップ～

【実施日】令和2年1月26日（日）

【場所】みやざき子ども文化センター コペルキッズ

【講師】中ムラサトコ（ヴォイスパーフォーマー）

【参加者数】46名



【所感】

どの講座もたくさんの親子の申込があり、音を感じる、作品を作るということに興味を持っていると感じた。「親子」を対象にしたことで、それぞれの家族が作品を作る際にはよく話し合い、できあがり満足している様子が見られ、帰宅後も作品を大事にすること、また会話も増えていることが想像できる。今後も、このような親子で共有できる空間・時間を大切にできるような企画を考えていきたい。

キッズ・アート・アカデミー 映画を作ろう！ドキドキ俳優体験！

[事業目的/内容]

宮崎で映画製作や演劇活動をしている講師の指導の下、子どもたちが一人ひとり俳優になり映画製作、出演をする。演劇ワークショップを受けることによって、子どもたちの緊張をほぐし映画撮影に必要な体の動きや声の出し方を学び、役作りを体験する。映像作りでは、講師と子どもでアイデアを出し合い、台本に沿って一つの作品を作り出す。

[実施日] 令和元年8月22日(木)～24日(土)

[場 所] 宮崎市田野児童センター

[参加者数] 18名

[講 師] 演技講師 濱砂崇浩（劇団こふく劇場）、映像撮影 伊達忍（ODU COMPANY）

[映画タイトル] summer days 制作：伊達忍



稽古の様子



メイク・衣装準備



撮 影



同じシーンを繰り返し撮影



上映会

[所 感]

映画に出演して作品を作るという目的のもと、子どもたちは講師の指導を真剣に聞き、考えたり想像したりして活動することができた。映画の内容の流れや役のことをイメージし、意見を出し合い、撮影が始まると18人全員がそれぞれが考え、イメージした演技をすることができていた。上映会では保護者の方々とも一緒に鑑賞し、子どもたちの日常にない表情や動きを見て喜んでもらうことができた。子どもたち自身も自分たちの表情などに驚いたりしており、日頃できない体験ができた。